

第43回

平成から新たな時代へつなぐ 伝統芸能

長崎郷土芸能大会

入場無料

安珍清姫

13時20分頃

長崎の明清楽

13時55分頃

長崎半島
権島ハイヤ節

15時40分頃

間の瀬狂言

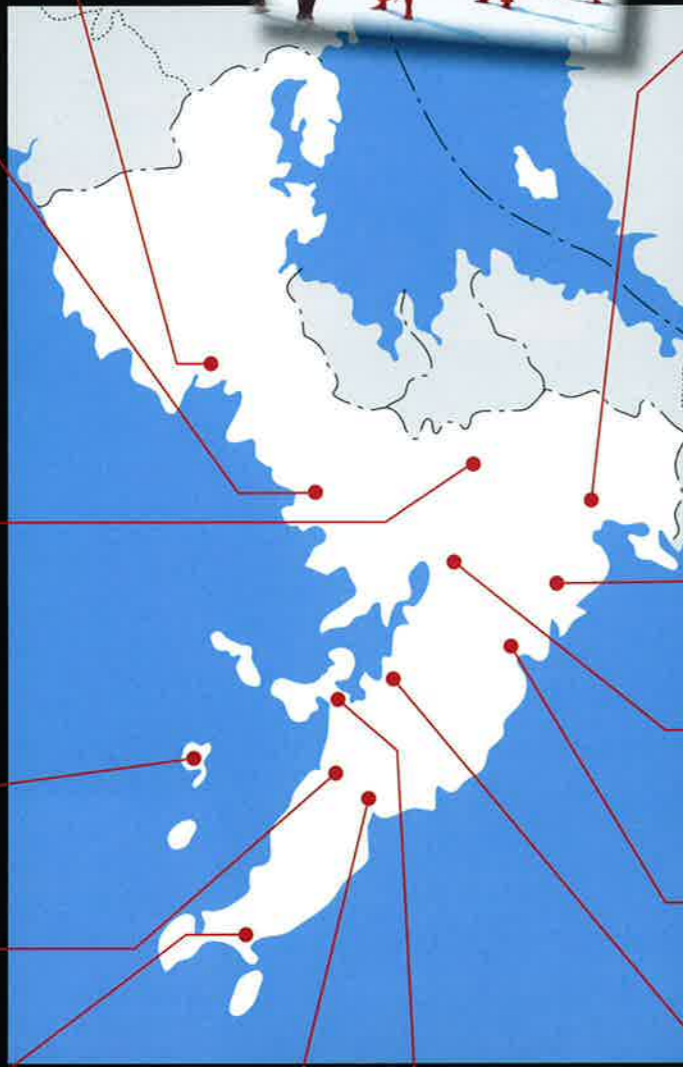
14時30分頃

蠣道浮立

15時5分頃



長崎郷土芸能 保存協議会 加盟団体



三重

- 盆踊り(東檜山)
- 東上面浮立
- 大江山鬼退治(東上)
- 竜踊(角)
- 竜踊(角上)
- 盆踊り(畝刈・多以良)
- 盆踊り(京泊)
- 盆踊り(西檜山)
- 三重くどき踊
- 崎上浮立
- 馬場浮立

式見

- 式見女角力
- 俵藤太の百足退治
- 陸上女ペーロン
- ヘラヘラ踊
- 安珍清姫
- 相川町月の輪太鼓
- 式見木場浮立
- 鉦踊獅子舞
- 式見里コッコデショ

西浦上

- 滑石竜踊
- 三ツ山浮立
- 横尾だんじり
- 住吉コッコデショ

高島

- 高島鼓響塾(姫大蛇)

土井首

- 平山の大名行列
- 竿浦・江川浮立

野母崎

- 野母の盆踊
- 長崎半島権島ハイヤ節
- 高浜八幡神社大祭奉納相撲

三和

- 川原まだら

深堀

- 深堀鍛冶町獅子舞

小ヶ倉

- 小ヶ倉獅子舞

東長崎

- 現川浮立
- 馬場本浮立
- ささら浮立
- 間の瀬狂言
- 中尾獅子浮立と唐子踊
- 矢上町コッコデショ
- 田之浦本浮立
- 矢上平野浮立
- 長崎シャギリ
- 蠣道浮立
- 中里獅子浮立
- 牧島銭太鼓

日見

- 芒塚獅子舞

中央

- 若宮稻荷神社竹ン芸
- 長崎明清楽

茂木

- 北浦獅子踊俵かたげ踊
- 飯香浦地藏祭飾そうめん
- 太田尾地藏祭飾そうめん

日時/平成30年 9月30日(日)

開場:午前11時30分 開会:午後1時

会場/市民体育館 (長崎市民会館内)

午前10時30分より
出演団体によるパレード
(雨天中止)

崇福寺～浜町アーケード～
観光通り～中通り～市民会館

◇主催:長崎郷土芸能保存協議会 ◇協賛:長崎市、長崎市教育委員会
 ◇後援:長崎県教育委員会、長崎県郷土芸能保存連合会、長崎国際観光コンベンション協会、長崎新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、
 読売新聞西部本社、西日本新聞長崎総局、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、
 NIB長崎国際テレビ、エフエム長崎、株式会社長崎ケーブルメディア (順不同)
 ◇お問い合わせ先:長崎市文化観光部文化財課(協議会事務局) 電話 095-829-1193

※黄字は、今年度43回大会の出演団体です。



安珍清姫保存会

式見地区 8年ぶり5回目の出演

出演時間：13時20分頃

出演人数：80人

由緒来歴

およそ210年前に、郷土出身の古老により、紀州の国から伝承されたものを旧式見村田舎郷松崎（現四杖町）に伝えられたと言われています。

昔は雨乞いや各種の祝賀行事に出演していましたが、その後30数年間の空白をおいて、昭和53年に復活しました。内容は、いわゆる歌舞伎舞踊の演目の一つである安珍と清姫の悲恋物語「娘道成寺」に属する寸劇です。



間の瀬狂言保存会

東長崎地区 4年ぶり10回目の出演

出演時間：14時30分頃

出演人数：140人

由緒来歴

滝の観音の門前と呼ばれる山間小集落に伝えられている狂言まじりの猿浮立を「間の瀬狂言」といい、狂言のこぼし、動作、道具等、伝承によると、室町期に始まるといわれます。万治3年（西暦1660年）観音寺（滝の観音）の開山の際もこの狂言を奉納したといわれ、大太鼓には元禄8年（西暦1695年）観音寺の銘があります。

笛・太鼓・鉦の調子に合わせて立道具・ササラの踊りが出て、その後、根治平、与五郎の掛け合いになり、それから「見猿（みざる）」「聞猿（きかざる）」「言猿（いわざる）」3匹の猿の踊りとなります。

第43回 長崎郷土芸能大会

長崎郷土芸能大会は、郷土「長崎」の貴重な民俗芸能の保存と顕彰を図り、市民の皆様の伝統芸能に対する関心と理解を深めていただくため、毎年開催しています。



蠣道浮立保存会

東長崎地区 4年ぶり9回目の出演

出演時間：15時5分頃

出演人数：210人

由緒来歴

蠣道浮立は、旧佐賀藩矢上村蠣道（現長崎市かき道）に、江戸時代の文化・文政期（西暦1804年～1830年）頃、旧北高来郡田結村（現諫早市飯森町田結）から伝えられたと言われています。

世話人入場後、笛・太鼓・鉦の音に合わせて、立道具が踊りながら入場、その後から鬼の面をかぶったササラと子ども達の掛打ちが踊りながら入場し、ササラと掛打ちが大鼓を叩きながら踊ります。次に婦人の扇子踊りが入場して踊り、最後に笛、鉦、太鼓（月の輪の舞、オオカンザキ、マクリ）の演技で終了します。



長崎明清楽保存会

中央地区 2年ぶり10回目の出演

出演時間：13時55分頃

出演人数：11人

由緒来歴

明清楽とは明朝の音楽と清朝の音楽という意味です。180年前、福建省出身の林得建が長崎で6人の弟子に教え、全国に広まりました。幕末から明治中期頃までは流行していましたが、日清戦争を境として衰えました。

明清楽は、近世の外來音楽として、わが国の音楽史にも影響を与えた価値の高いもので、現在、保存会ではその伝承に努めています。昭和53年3月25日に国選無形文化財、昭和53年8月22日に長崎県指定無形文化財となっています。



長崎半島樺島ハイヤ保存会

野母崎地区 7年ぶり4回目の出演

出演時間：15時40分頃

出演人数：50人

由緒来歴

長崎半島樺島ハイヤ節は、江戸時代中期頃から伝えられ、祝・大漁・新造船・新築・出生などのお祝いの中で楽しく元気に舞い踊られてきました。

途中で継承の危機がありましたが、保存会の尽力により、現在は数々の出演依頼が寄せられ、活躍を見せています。

樺島は天然の良港で、イワシの大漁続きで大いに活気があったころは、島全体で大漁旗を振ってハイヤ節を踊ったそうです。「ハイヤ」とはハエの風（南風）のことで、イワシ網を引くときに「八銭ヨーイ、八銭ヨーイ」の合いの手が入るのは、その頃のイワシの水揚げ作業の日当が八銭だったことに由来します。

知らずに損していませんか？航空券は安いんです。
～あなたの条件で最も安い方法をお探しします。詳しくはお電話かメール、FAXにて～

航空宿泊パック
★往復の航空券+宿泊付で安い！
★憧れの高級ホテルもバックなら安い！
★出発日7日前までお申込み可能！

～国内旅行・海外旅行・グループ旅行・団体旅行 旅行のことなら何でもご相談下さい。～
長崎県交通観光株 0120-21-2129
長崎県長崎市魚の町2-9
URL <http://www.koutukankou.com/> E-mail info@koutukankou.com

長崎くんち
10月7・8・9日

長崎くんちの歴史や用語の解説
一部三百円

◇出演箇所
小川町…傘鉦・唐子獅子踊 大黒町…傘鉦・唐人船
桜島町…傘鉦・太鼓山 出島町…傘鉦・阿闍陀船
本古川町…傘鉦・御座船 東古川町…傘鉦・川船
組屋町…傘鉦・本踊

◇問い合わせ先
長崎伝統芸能振興会（☎822-0111）

プログラム

- 開会セレモニー 13:00
- 開演
 - ①安珍清姫保存会 13:20～13:50
 - ②長崎明清楽保存会 13:55～14:25
 - ③間の瀬狂言保存会 14:30～15:00
 - ④蠣道浮立保存会 15:05～15:35
 - ⑤長崎半島樺島ハイヤ節保存会 15:40～15:55
- 閉会セレモニー 16:00

長崎茶寮
GOWAN CAFE KAWATOKU

ランチタイム 11:30～14:00
カフェタイム 14:00～17:00
ディナータイム 17:00～22:00

長崎市田中町280-15 TEL.095-833-0500

新鮮食彩
TEL 851-0115
長崎市かき道1丁目1-34
TEL 095-838-6011 駐車場完備

大小宴会 受け賜ります

Business Center
株式会社 大和屋
〒850-0875 長崎市栄町3番5号
TEL 095(822)1177 FAX 095(822)6314
E-mail: order@n-yamatoya.co.jp

諸官庁・各学校御指定
株式会社 大場金物百貨店
〒850-0017 長崎市新大工町5番19号
TEL 821-5911 (代)
FAX 821-5914

イオン東長崎店
長崎市田中町1027番8 TEL095-839-1110

営業時間
食品販売のみ 9時 ▶ 22時
その他の売場 9時 ▶ 21時

AEON イオン東長崎ショッピングセンター